

国際・交流事業の手引き

(BF・EF編)



2022-2023 年度

国際・交流事業委員会

2022-2023 年度

国際・交流事業の手引き (BF/EF 編) 作成にあたって

この手引きは 2022～2023 年度西日本区国際・交流事業主任ならびに

各部事業主査のために、

国際・交流事業の理解の一助になればと事業概要をまとめたものである。

今回は特に BF・EF について説明するものです。

なお、この手引きの他に、主任・主査として

必要かつタイムリーな情報の入手方法として、「西日本区ホームページ」がある。

このホームページも定期的な閲覧をお勧めします。(<http://ys-west.or.jp/>)

是非、アクセスしてください。

●事業主題 (西日本区国際・交流事業主任)

交流し、語り合い、自分だけでできないことをみつけよう！

～ワイズの仲間とならいろんなことが実現できる！ 楽しい！！～

Let's find out what you can't do on your own
by interacting and talking together.

国際・交流事業主任 小田 哲也

ワイズメンズクラブ 100 周年、東西日本区に別れて 25 周年の本年、国際・交流は国際協会員であるワイズメンの誇り、喜び、愉しみです。

おおいに交流し、IBC・DBC に積極的にチャレンジし、交流の楽しさを味わって、国際人としての自覚を意識していただきたいと思います。

●事業主査 西日本区 各部 国際・交流事業主査 (敬称略)

| | | |
|-------|-------|-----------|
| 中 部 | 山田 英次 | (名古屋東海) |
| びわこ部 | 東 康彦 | (滋賀蒲生野) |
| 京都部 | 小林 郁佳 | (京都トップス) |
| 阪和部 | 坂本 智 | (和歌山紀の川) |
| 中西部 | 藤好 基子 | (大阪なかのしま) |
| 六甲部 | 田辺 征一 | (神戸学園都市) |
| 瀬戸山陰部 | 橋崎 恵子 | (姫路グローバル) |
| 西中国部 | 田中 正海 | (呉) |
| 九州部 | 布田 悟 | (熊本) |

●委員会 西日本区国際・交流事業 (敬称略)

| | | |
|-----|--------|----------|
| 委員長 | 小田 哲也 | (福岡中央) |
| 委員 | 深谷 聡 | (名古屋) |
| 委員 | 牧野 万里子 | (京都ウエスト) |

【表彰対象】

- ① IBC・DBC 新規締結クラブ賞
・新たにIBC・DBCを締結したクラブ
- ② 新規交流チャレンジクラブ賞
・コロナ禍で新しい交流方法を導入し、積極的に交流を図ったクラブ
- ③ STEP・iGo クラブ賞
・STEP・iGo 事業に積極的に関わったクラブ
- ④ BF 献金 100%達成賞
- ⑤ EF 献金賞
- ⑥ 最優秀クラブ賞

【国際・交流事業ファンド基金（BF・EF）】

BF (Building Fellowship Fund): ビルディングフェロウシップ基金

・使用済み切手換金分 + 現金にて 1人当たり¥1,000
(クラブ目標=メンバー数×¥1,000) (今期の目標)

EF (Endowment Fund): 国際信託基金

・記念ごと献金 1口120スイスフラン
西日本区合計 3,000 スイスフラン (今期の目標)

◆BF 事業について

事業の沿革

国際大会(オハイオ州クリーブランド)で得た800米ドルの利益で、ビショップ基金としてスタートした。

そして、この資金を使って、「国際的な目的のために適切な」プログラムを開始するよう、国際会計(当時は国際書記長)に命じられた。

1960年代後半には、「ブラザーフード基金」という名称が採用された。

当初の収入の大半は、使用済み切手の販売によるもので、国際大会への外国人出席のためのスポンサーに充てられた。

その後、このプログラムは、地元のクラブからの現金寄付によって増強され、現在に至るまで発展してきている。

2022年5月にドバイで開催された国際議会の投票で採択され、「ビルディング・フェロウシップ・プログラム」となった。

BFの目的

1931年に設立された当初の目的は、海外のワイズメンバーを国際大会に招聘することだったが、現在では複数の目的(Fellowship,

Training, Travel, Youth Development)を持ち、その中でもメンバーの親睦とリーダーシップの育成が重要な鍵となり、現在では、それが主な目的となっている。

2017年に承認されたBFスローガン「Leadership through Fellowship」は、この点を強調している。

現在のキャッチフレーズである「Inspiring Leadership」は2022年に採択された。

BFの使途

ビルディングフェロウシップの収入は、主にクラブとクラブ会員からの現金寄付によるものである。通常、第2期に国際事務局に送金される。

切手の収集と販売を通じて資金を集めるという伝統を守っているところもある。

この活動は、通常、フィラテリスト(切手収集家)が管理しているが、使用済み切手の処分や交換方法については、国や地区ごとに異なる規則がある。

ほとんどの使途先は、国際研修、会議、他国のクラブ訪問のためにクラブ会員に提供される旅費だが、BF基金は例外的に多様であり、カーボンオフセットプロジェクトや国際ユースコンボケーション、必要に応じて国際執行役員の旅費にも充当している。

BF代表とは

BF(Building Fellowship)は、ワイズメンズクラブ国際協会でも最も古くから行われている国際プログラムのひとつである。使用済み切手の換金、あるいは現金の拠出によって国際協会に集められた献金を、クラブ間の

交流を深め、ワイズ運動のリーダー養成のために用いる制度である。

BF 代表 (BF Delegate) とは、この制度から補助を受けて、他地域のクラブを訪問したり、国際大会、地域大会、区大会等に出席することで国際理解を深め、国際親善を図り、ワイズ運動のリーダーになろうとする会員のことである。

BF 代表の種別

BF 代表には、会員一般向けのものとして **BF 文化交流代表**、および **BF 大会代表** の 2 種類がある。

他にも次期理事サミット参加者への交通費補助、新クラブ育成のためのトレーニングに赴くための交通費補助等、対象者が限られる BF 代表もあるが、詳細は国際協会発行の BF ポリシー、BF マニュアルを参照。

BF 文化交流代表 は、10 日間以上 30 日間以内、訪問先のトラベルコーディネーターが企画する旅程にしたがって、他の地域のクラブを訪問し、日程が合えば国際大会、地域大会または区大会に参加する。

旅行費用の 75% (最大 2,400 スイスフラン) が国際協会から支給される。帰国後は、国際協会に所定の報告書を提出し、また訪問で得られた経験、知見をクラブ・部・区内で積極的にシェアすることが義務付けられている。

BF 大会代表 は、国際大会、地域大会または他国の区大会に参加。旅費等の一部が国際協会から支給される。支給額は、応募者数、応募者の所属する国・地域と大会開催地の距離、その他の事情を考慮して、各地域に割り当てられた予算の中で地域会長が決定する。報告書の提出義務などはない。

☆BF代表への応募資格

BF 代表の旅行は、観光旅行ではなく、ワイズ運動の親善大使としてワイズ運動の発展に貢献するための旅行であること。また、過去の業績、役職への報償ではなく、将来への投資であることを認識しなくてはならない。

☆ BF 文化交流代表、BF 大会代表に応募する資格は次のとおり。

- ⑦ ワイズ運動への高い関心、リーダーとなる可能性を有していること
- ⑧ 所属するクラブが、国際協会への義務(半年報の提出・国際会費の納入など)を完全に果たしていること
- ⑨ 所属するクラブが、前年度に、80 スイスフラン以上の BF 献金または使用済み切手換金による BF 献金を 20 スイスフラン以上行っていること
- ⑩ 英語、もしくは訪問国の言語で十分な会話が出来ること
- ⑪ 過去国際議員、国際執行役員を務めたことのない者(区理事等、トップリーダーに在職中の応募は、相応しくない)
- ⑫ 正規のワイズメネットクラブの会員、ワイズ運動に関わっている YMCA 職員も BF 代表への応募ができる

☆BF代表応募の手続きと選考

- ① 次年度の BF 代表の募集要項が国際協会から 3 月中旬頃に告知され、国際・交流事業主任によって区内に周知される。
- ② BF 代表に応募しようとする者は、5 月 1 日までに応募者本人が国際協会のウェブサイトを通じてエントリーする。
- ③ 区理事、応募者所属のクラブ会長は、BF Recommendation Form (推薦状)を国際協会のウェブサイトを通じて提出する。これは、任意ですが、応募者が BF 代表に相応しいと判断した場合は、提出することが望ましい。

④ 代表の選考は、国際協会の BFEC(BF 支出委員会)が行う。

(詳細は、国際協会発行の BF ポリシー、BF マニュアルの最新版を参照)

BFの表彰（国際）

● クラブレベル表彰

BFブロンズ賞 - 2ポイント

BFシルバー賞 - 5ポイント

BFゴールド賞 - 10ポイント

BFプラチナ賞 - 20ポイント

以下の実績に応じてポイントが付与されます。

- ・ 現金寄付 - 1クラブにつき (40スイスフランにつき) 2ポイント
- ・ スタンプ販売による現金 (10スイスフランにつき) 5ポイント
- ・ 前年度に開催された各BF代表 10ポイント
- ・ 前年度に派遣され、トラベルレポートを提出した各BF代表 20ポイント

BFを奨励するためのこれらの表彰は、いずれも切手を現金化したドル換算。

● 区レベルの賞

1. アーニー・ベル賞

この賞は、前年度の切手の販売によるBF基金への貢献度が最も高かった区に贈られる。

2. アルフ・レイノルズ賞

前年度、BF基金への寄付金総額が最も多かった区に贈られる。

BFの送付方法（使用済切手）

・使用済み切手の送付方法については、後述の（BF 使用済み切手の集め方・送り方）を参照。

BFの送付方法（現金）

現金は大変効率的。現金の献金の他に、「使用済みのテレホンカー

ド」や「プリペイドカード」を集めて換金したり、書き損じの葉書を換金したりした現金も含まれる。

テレホンカードやプリペイドカード、書き損じ葉書はそのまま送るのではなく、各自・各クラブで換金した後、送金のこと。使用済み切手とは全く違う扱い。要注意。

現金は所定の郵便振替用紙で西日本区会計に振り込む。その際、クラブ名、送金者名、金額とBFである旨、記入。

BF使用済み切手の集め方・送り方

● 切手の切り方

切手の周りを 5mm 程の余白を付けて切り取る。

余白が小さいと切手を切り込んで、キズ切手になる可能性がある。

複数の切手が貼ってある場合も、切手全部に沿って 5mm 幅で。

「消印に沿って切る」のは間違い。まっすぐ切ること。

● 切手の分け方

日本切手と外国切手に分ける。

大きさや、記念・通常の種別で分けることはしない。

● 除外切手

- ・台紙からはがした切手
- ・段ボールなど厚紙に貼った切手
- ・キズやセロハンテープの付いた切手
- ・料金別納で消印されたシートのまま、又は多数つながった切手
- ・一度はがした切手を台紙に貼り直した切手

● 切手送付時の分け方

・日本切手、外国切手をそれぞれ一袋にまとめて送付。

・1kg ごとや〇〇グラムごとに小分けは不要。

重さの端数がついても問題なし。

(国内切手は 1kg 600 円、外国切手は 1kg 1,000 円として換算)

- 切手の送り方

- 1. クラブ単位で送る場合

- はがき「使用済み切手納品書・買受金額通知書」2枚に、送る切手の重量、クラブ名、担当者名など必要事項を書き込む。

- 宛名(ファンド主任、担当者)を記入後、切手を貼って同封し発送。

- 2. 部単位でまとめて送る場合

- ◆ケース①

- 配達コストを軽減するために部でまとめて発送する場合

- クラブ単位で送付する手続きを基本とし、次の書類を追加する。

- 「BF 使用済み切手各クラブ納品一覧表」の太枠内に記入したもの。

- ◆ケース②

- 希望クラブ分で等分してゼロクラブをなくすために部でまとめて発送する場合

- クラブ単位で送付する手続きを基本とし、次の書類を追加する。

- 「BF 使用済み切手各クラブ納品一覧表」の太枠内に記入したものにクラブ名を記入したもの。

- はがき記入に不備がある場合は事業主任にまとめて送るため、部や各クラブに通知はいかない。

- 送り先

- 〒151-0053 渋谷区代々木 2-7-5 中島第2ビル 3階

- フクオ ワイズ係

- Tel./03-3379-3305

- 問い合わせ先/fukuo@plum.plala.or.jp まで。

EF 事業について

基金の沿革

- 1955年にワイズの事業の発展のために基金として設立された。
- 1985年に国際協会運営の緊急用基金であった Capital Reserve Fund を吸収して、現在の名称となった。かつて米国シカゴにあった国際協会事務所の売却代金も加えられている。
- 1967年からゴールデンプックに寄贈者名が記録されるようになった。

EF基金の目的と概要

EF の目的は、YMI の現在と将来の目的のために財政的支援と安定を提供し、特別なプロジェクト、エクステンション、運動の拡大を支援すること。

その概要は:

- ワイズダム発展のために会員やクラブなどからの寄付・遺贈・などによって集められた基金。
- 国際協会の長期計画委員会では、財政的に強いワイズダムを目指すために、このファンドに力を注いでいる。本来は自由意思の献金だったが、現在はその成果をあげるために目標を掲げ、各種表彰を行なうなど様々なプロモーション策をとっている。
- 献金の金額(4段階)によって、表彰の種類が異なる。詳細は、後述するが、120スイスフラン以上の献金をすることによって、寄贈者とその理由、対象者名が国際本部事務所にあるゴールデンプックに記載される等の特典が与えられる。

EF基金の使途

EF基金の使途については、国際議会(ICM)で決定され、EF基金管理委員会が支出の決定を行なう。2021-2022年度の使途の割合としては、以下の通り。(2022-2023国際会議終了後の議事録が公開された時点で最新版を追ってお知らせします。)

◆内訳／

SDS:28%

RDE サミット:28%

運営費:34%

表彰:3%

管理費:7%

EF基金の表彰制度について

1. ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェロー (Paul William Alexander Fellow)

個人で120CHF(スイスフラン、以下CHFと表記)以上献金をした人に、この名称が与えられ、ゴールデンプックのポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェローの欄に記録され、国際大会で特別にネームタグをつけることができる。

2. オナロール・メンバー(Honor Roll Member)

個人で1,000CHF以上の献金をした人に、この名称が与えられ、ゴールデンプックのオナロール・メンバーのページに記録される。夫婦で1,000CHFの献金をした場合は、夫婦の名前が記録され、記念品としてアイスバーク・ミメント(冰山を模した置物)が贈られる。

遺言で1,000CHF以上を寄付することを、EF国際事業主任と国際書記長に通知した場合も同様に扱われる。

3. エンダウメント・フレンド(Endowment Friend)

個人で50CHF以上の献金をした人には、この名称が与えられ、ゴールデンプックのエンダウメント・フレンドのページに記録される。

これは前述1. 2. のように1回限りの献金ではなく、毎年の献金が奨励されている。

4. オナロール・クラブ (Honor Roll Club)

クラブが、1,000CHF 以上の献金をした場合は、ゴールデンプックのオナロール・クラブのページに記録されます。クラブに記念品としてアイスバーク・ミメントが贈られる。

EF基金：こんな時に献金を！

- ・ 記念：永年会員の表彰、クラブアワードの受賞、クラブの設立・周年、IBC 締結、など。
- ・ 追悼：会員の追悼、昇天記念、香典返し、など。
- ・ 謝礼：卓話者が辞退した謝礼を、了解を得て卓話者名で、など。
- ・ 予算：オナロール・クラブを目標にクラブで予算化する
- ・ その他

EF基金の手続き

1. EF 献金をするときは、**西日本区事務所を通さず、直接国際のホームページより、個人、もしくは、クラブで献金**を行っていただき、その献金の報告書「**EF 献金報告書**」（西日本区資料庫内 401）を、西日本区事務所および国際・交流事業主任へ送付。これには部名、クラブ名、申込人名、個人・クラブの区別、金額、献金の趣旨、送金日を記入。
ゴールデンプックに記載する文章は英文 100 語以内にまとめるが、日本語でも可能。
2. これに対して、**西日本区は事業主任名で「献金受領お礼状」**を献金者に送付
金額、献金の趣旨、献金者の区分を確認する。
(詳細は西日本区ホームページを参照)

使用済み切手買受通知書(1) **担当者宛**

使用済み切手買受通知書(2) **区事業主任宛**

郵便はがき

*

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|

*
返信切手を
貼ってください

*(住所)

ワイズメンズクラブ国際協会

* 部 クラブ

* 担当者 _____ 様

郵便はがき

*

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 8 | 1 | 2 | 0 | 0 | 5 | 3 |
|---|---|---|---|---|---|---|

*
返信切手を
貼ってください

*(住所)

福岡市東区箱崎3-18-8

ワイズメンズクラブ国際協会

西日本区国際・交流事業主任

小田 哲也 様

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|

| | | | |
|----------|---|---------|------|
| 使用済み切手送付 | | クラブ担当者控 | |
| クラブ名 | クラブ | | |
| 送付担当者 | BF委員長: | | |
| 送付年月日 | 20 年 月 日 | | |
| 送付重量 | 国内切手 | kg | |
| | 外国切手 | kg | 計 kg |
| 送付先 | 〒151-0053 渋谷区代々木2-7-5 中島第2ビル3階 フクオ ワイズ 係 | | |
| 備考 | | | |

| | | | |
|--|----------|--------|------|
| 使用済み切手買受通知書(2) | | 区事業主任宛 | |
| * 西日本区国際・交流事業主任 小田 哲也 様 | | | |
| _____クラブから送付された切手を下記金額で 買い受けましたので通知いたします。 | | | |
| (有)フクオ | | | |
| * 送付年月日 | 20 年 月 日 | | |
| * 送付重量 | 国内切手 | kg | |
| | 外国切手 | kg | 計 kg |
| 買受金額 | 円 | | |
| 備考 | | | |

| | | | |
|--|----------|---------|------|
| 使用済み切手買受通知書(1) | | クラブ担当者宛 | |
| * _____部 担当者 _____ 様 | | | |
| 貴クラブから送付された切手を下記金額で買い受けましたので 通知いたします。 | | | |
| (有)フクオ | | | |
| 送付年月日 | 20 年 月 日 | | |
| 送付重量 | 国内切手 | kg | |
| | 外国切手 | kg | 計 kg |
| 買受金額 | 円 | | |
| 備考 | | | |

※ 送付年月日、担当者名を必ずご記入のうえ
 ケース①のとき・・・各クラブ名、各クラブごとの重量を記入し使用済み切手送付時に同封のこと。
 ケース②のとき・・・均等割対象クラブ名、等分した重量を記入し使用済み切手送付時に同封のこと。

送付年月日 年 月 日

部名: 部 担当者名

| ク ラ ブ 名 | 切 手 重 量 | | | 合計重量 | (有)フクオ記入 | 備 考 |
|---------|---------|------|----|------|----------|-----|
| | 日本切手 | 外国切手 | kg | | 買受金額 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| クラブ | | kg | kg | kg | 円 | |
| 総重量 | | kg | kg | kg | 円 | |

西日本区国際・交流事業主任 小田 哲也 TEL:090-8396-3797 mail:odatetsu_2@hotmail.com